



広

報

2009
8/10

No. 540

あ

い

づ

ば

ん

げ



御田植祭 奉納相撲大会にて

会津坂下町男女共同参画プラン

（なのはなプラン）が策定されました！

男女共同参画社会に向け会津坂下町男女共同参画プラン

（なのはなプラン）が策定されました。

「自分らしく生きられる」社会を目指して、会津坂下町男女共同参画推進会議、同プラン策定委員会、同プランワーキンググループのメンバーを中心に策定作業を進めてきました。

“なのはな”のように町に男女共同参画が根付くよう、また町民一人ひとりが自分らしく生き“なのはな”のように咲き誇るようお願いがこめられたプランです。



男女共同参画社会とは何だろうか？



「男らしく」「女らしく」とか、「男だから」「女だから」のように、固定的な男女の役割にとらわれないで、男女が社会で対等に「自分らしく」生きるために、家庭や地域、職場など、社会のあらゆる場面で共に考え、行動し、共に責任を担っていく社会のことを言います。

なぜ男女共同参画が必要なの？



個人の価値観やライフスタイルも多様化してきていますが、まだ地域の中では、男女の固定的な役割意識やそれに基づく慣習やしきたりなどが、根深く残っているのが現状です。

すべての町民の人権が尊重され、自分らしく生きられるよう、責任を分かち合い、個性と能力が十分に発揮できる社会の実現を目指し、プランを策定しました。

自分らしく生きよう！ なのはなプランにかけた思い

平成九年度の『女性行動計画』そして今回の『なのはなプラン』のどちらにも関わられた、佐藤順子さん（仲町）に、プランへの思いを伺いました。

―男女共同参画に関わるようになった

経緯をお聞かせください。

小学校の時、当時は珍しかった男女混合クラスで学び、とても楽しくのびのびと勉強することができました。一方で、級長は男、副級長は女と決まっていたり、何をするにも男子が優先されるのが当たり前でした。

また、当時女性は学校を卒業すると花嫁修業というのが一般的でしたが、私の父は「自分の好きな道を選べ」という教育方針もあって、比較的男女平等であった教育方針を選び、その後の生き方にも大きく影響したと思います。

―十年で、どう変化したと思いますか？

平成九年の女性行動計画では、女性のエンパワーメント（※）、社会進出を主にうたっていて、ある程度目的は達成されていると思います。ですが最近「女が強くなると社会がおかしくなっている」ということを口にする人がいます。まだまだ正しく理解されていないのが現状だなと感じています。

男女共同参画プランは四つの柱を中心に策定されました。

基本目標Ⅰ

男女平等・人権を尊重する意識づくり

すべての町民に対して、家庭・学校・地域・行政が連携して、男女平等意識の醸成に取り組みます。

基本目標Ⅱ

男女共同の社会・地域づくり

男女の個性が尊重され、喜びも

責任も分かち合う平等な社会の実現のためには、政策・方針決定の場に女性が男性と対等に参画することが大きな意味を持ちます。

女性があらゆる分野で能力を発揮できるように、公共機関や地域活動などにおいて、女性の積極的な登用を推進します。



基本目標Ⅲ

男女が共に

働きやすい環境づくり

労働における男女平等を推進するために、行政や企業による積極的な取り組みを求めると共に関係機関と連携を図りながら啓発活動に取り組みます。



基本目標Ⅳ

健やかでいきいきと暮らせる

社会づくり

すべての男女が健やかでいきいきと、安心して暮らせる総合的な福祉の充実を目指します。

「自分らしく生きよう!」男女共同参画社会に向けて

「男女共同参画なんて難しそう」と思っていないですか？

プラン概要版では、地域社会・家庭・職場・学校と四つの場面での男女共同参画社会に向けた取り組みの提案があります。難しく考えず、町民一人ひとりが「自分らしく生きる」最初の一步を踏み出しましょう!

今後町広報で、「最初の一步」を提案していきますので、みんなが「自分らしく生きられる」男女共同参画社会に向け歩き出しましょう!



▼問い合わせ先 会津坂下町教育委員会 生涯学習班 TEL (83) 3010

自分らしく生きよう! なのはなプランにかけた思い

「このプランへの思いをお聞かせください。」
男女共同参画社会は、男女が互いにその性を尊重し、あらゆる面でよりよく協力し合う社会だと思っています。

女性だけでなく、男性ももっと生きやすい世の中にしていかなければならないと思います。男性も仕事一筋だけでなく、子育てや介護にも参加しやすい社会にするためにも、企業にももっと働きかけたりする必要もあると思います。

そして、これからを担う若い人たちに、正しい理解をしていただきたいです。

※エンパワーメント: 本来持っている能力を引き出し、社会的な権限を与えること。



プランに寄せて

たくさんのお話し合いを重ねて、やっと町民の方々に見ていただける「プラン」ができあがりました。

「男女共同参画」というと、すぐ女性の権利だけを主張するフェミニズムと混同する人がいます。私たちの目標は、男性女性を超えた「人間として」の生き方、人権を守ることです。

慣習・しきたりに縛られる社会から自分を解放し、無理せずいきいきと過ごす社会を進めていきたいと思っています。

会津坂下町男女共同参画プラン策定委員会

会長 平野 澄子

平成21年度福島県会津地方防災訓練が 会津坂下町で開催されます！

日時：平成21年9月5日(土) 午前8時30分～午後0時15分

平成21年度福島県会津地方防災訓練が会津坂下町の坂下小学校周辺をメイン会場に開催されます。

当日は、県警ヘリや消防防災ヘリによる救出訓練や消防本部によるBC（生物・化学剤）災害対応訓練、町消防団による中継送水訓練など約20項目の訓練が実施されます。

全町民（全行政区）の避難訓練も実施しますので、皆様の訓練への参加・参観をお願い致します。

また、緊急車両等によるサイレンや防災行政無線による避難勧告などが流れますので、火災や災害と間違えないようにお願い致します。

道路通行止のお知らせ

防災訓練当日は、下図のとおり道路が通行止（予定）になりますので、皆様のご協力をお願い致します。

〔通行止日時〕

平成21年9月5日(土) 午前8時～午後1時まで

県道会津坂下停車場線（町民体育館東側～会津坂下駅前）

町道坂下小学校線（町民体育館北側～町営駐車場東側）

▼問い合わせ先

会津坂下町総務部情報防災班 TEL 84-1533



通行止日時

平成21年9月5日(土)

午前8時～午後1時まで

第五次会津坂下町振興計画 素案の策定が始まりました

町では、第四次振興計画を町政運営の基本方針として、「町民が、夢と希望と愛着を持てるまち」の実現を目指し、まちづくりを進めてきました。

振興計画とは、地方自治法第2条第4項の規定に基づき、望ましい町の姿とこれを実現するためのまちづくりの方向を定めるもので、町の最も重要な計画です。

第四次振興計画は平成13年度から平成22年度までの10年間の計画であり、目標年次が近づいたことから、新たに平成23年度から10年間の第5次振興計画素案の策定に取り組みます。

策定は、住民と行政で組織された「会津坂下町地域が輝くまちづくり創造委員会」の委員のみなさんがあたります。

第1回 会津坂下町地域が輝くまちづくり創造委員会 開催

7月18日（土）に第1回「会津坂下町地域が輝くまちづくり創造委員会」が開催され、町長より委員に委嘱状が交付され、規約の承認、役員を選出が行われました。

委員長	齋藤京子さん
副委員長	石井健一さん
	蓮沼孝義さん
	内海淳一さん
事務局長	五十嵐正康さん



テーマ

振興計画の策定と協働のまちづくり
～プロセスの共有が協働の基盤づくりに～

その後、宮城大学地域連携センター地域事業部アドバイザーの山田晴義先生を講師として、講演会が開催されました。

山田先生は、「地域コミュニティの力が大きく減退するなかで、地域コミュニティの力でなければ解決できない問題が拡大し、また、行政に委ねるまちづくりが限界を迎えていることから、行政と住民との協働のまちづくりが求められています。コミュニティの再生を図るためには、自我の芽を育て、話し合える場づくりが必要です。」と講演されました。

人口減少社会の中で、地域コミュニティの重要性を委員が共有し、今後の計画策定に活かしていきます。

【問い合わせ先 政策企画班 TEL 84-1504】

新就職者激励会 開催

今年は四十四名が地元企業に就職



会 津坂下町雇用促進協議会主催による「新就職者激励会」が6月25日、会津坂下町中央公民館で開催されました。

本年度は44名が町内の工場・団体・販売店・医療機関等に採用になり、勤務しています。

激励会では、「作文コンクール」の表彰があり、最優秀賞を受賞した三瓶麻美さんが作品を発表しました。最後に新就職者を代表して遠藤真理子さんが謝辞を述べました。

激励会終了後、企業教育コーディネーターの坂本稔さんによる「社会人として生きるための術」の講演があり、新就職者の皆さんは熱心に聞き入っていました。

作文コンクール入賞者（敬称略）

▼最優秀賞

三瓶 麻美
（会津みどり農業協同組合）

▼優秀賞

遠藤 真理子
（坂下電子光学株）

▼入選

万波 智憲
（株東邦銀行 坂下支店）

松本 孝彦
（会津信用金庫 坂下支店）

蓮沼 健太
（株彌満和プレジジョン会津工場）

二瓶 真佳
（社会福祉法人 両沼厚生会）

山口 舞
（社会福祉法人 両沼厚生会）



栗田 めぐみ
（会津中央乳業株）





三瓶 麻美さん
(会津みどり農業協同組合)

作文コンクール 最優秀賞受賞作品

「新社会人として」

私 は今年の4月に会津みどり農業協同組合に入組しました。もう2ヶ月が経ちましたが、日々新しく学ぶ事ばかりで、教えてもらったことを覚える前に次の仕事を教えてもらうというようにして日々の業務に取り組んでいます。

5月に入ってからは窓口に出させてもらう機会がありました。やはり実践の場では研修の時と異なる場

合もあるのです。基礎に加えて、経験と基礎を応用する力が必要だと感じました。これからも経験を積み、その場に対応できるような応用力を身につける必要性を強く感じています。そして、その時の状況にあわせて最優先事項を認識し行動をしていかなければならないとも感じました。主体性と学習精神を持ち、謙虚な姿勢で何事にも取り組んでいきたいと思えます。日々の業務を通じ、自分自身の未熟さを痛感するばかりですが、1日も早く1人前の社会人になれるよう、目標を立てました。

まずは、挨拶をきちんとするということです。職場柄ということもありますが、それに加えて挨拶というのは人間関係を築く上での第一歩だと思えます。どんな時でも笑顔の挨拶を心がけていきたいです。

そして、何事にも積極的な姿勢でいることです。今が入ったばかりという事で、あらゆる事に対して「覚えなければ」という思いで取り組んでいますが、常にその姿勢を忘れないことで、社会人としてもスキルアップしていくことができると思います。

これから先、社会の厳しさというものを身を持って経験していくと思いますが、周囲の諸先輩の皆様方にご指導をいただきながら、立派な社会人になれるよう、日々精進していきたいと思えます。仕事をしている時にお客様に声をかけていただく機会があり、そのときには地元就職できたことを強く実感しています。これまで自分を育ててくれた地元にも少しでも恩返しできるように精一杯頑張りたいと思います。

進路講演会が

開催されました

6月25日、坂下高等学校で「生きる意欲向上のための講演会」が開催されました。

こういつた進路講演会は、坂下高等学校で年間3回開催され、今回はそのうちの2回目。町内の経済人三人を講師に招き、全校生徒約300人が耳を傾けました。



写真右より

- ・坂下電子光学(株) 星 社長
- ・(有)フォトスタジオ原 原 社長
- ・坂下高等学校 田辺 校長
- ・会津中央乳業(株) 二瓶 社長